

厚生労働科学研究費補助金（厚生労働科学特別研究事業）
分担研究報告書

心理職の役割の明確化と育成に関する研究（H26-特別-指定-011）

〔分担研究課題〕 欧米における医療分野の心理職教育システムの調査

研究分担者 下山 晴彦（東京大学大学院教育学研究科）

研究協力者 稲田 尚子（東京大学大学院教育学研究科）

松丸 未来（東京都スクールカウンセラー）

高岡 昂太（日本学術振興会 / University of British Columbia）

研究要旨

今日、わが国の精神保健福祉医療分野では、心理職のニーズと期待が急速に高まっており、心理職の実態と役割の明確化およびその養成のための体制整備が緊急の課題である。本研究では、英国、カナダ、米国の医療分野の心理職の養成カリキュラムや研修制度についてレビューし、わが国の心理職に相応しい教育研修システムを検討することを目的として行った。結果を以下に述べる。

クリニカルサイコロジストの概要：英国、カナダ、米国の医療分野における心理職は、クリニカルサイコロジストである。プログラムは、英国では専門職大学院の博士課程、カナダ、米国では大学院博士課程であり、いずれも臨床心理学を専門とする。クリニカルサイコロジストとカウンセラーの比較：クリニカルサイコロジストは、心理療法を実践するだけでなく、アセスメントを実施する。科学的根拠に基づいた（エビデンスベースト）理論をメンタルヘルス活動に適応し、評価と研究を継続する科学者・実践者であり、実証性と専門性を重視する。一方、カウンセラーは、心理学を基礎としておらず、心理療法は実践するがアセスメントは行わず、研究よりも実践を重視する。

クリニカルサイコロジストになるための要件：英国では、3年間の臨床心理学専門職大学院プログラムを修了する必要がある。プログラムには、博士号の取得、スーパーヴァイズ下の毎週3日間（計300日間）の実習、認知行動療法ともう1種類、計2種類のアプローチの習得などが含まれる。カナダ、米国では、臨床心理学の博士号を取得し、規定時間数の実習・インターンシップ経験（州によって異なるが平均的には3000時間）を積み、筆記試験（国の試験は必須、州の試験は州によって要否が分かれる）および口述試験に合格する必要がある。このように、英国とカナダ、米国では資格試験の有無など異なる点もあるが、科学者・実践者モデルに立脚しており、博士号を取得し、決められた濃密な実習・インターンシップ経験を積み、十分にスーパーヴァイズを受けた上で認定される点は共通している。これらの綿密な教育研修プログラムにより、高度な臨床実践力を有し、またエビデンスベーストアプローチを検証していくための研究能力が保障される。これら欧米の教育研修プログラムを参考にして、我が国の医療分野における心理職にふさわしい教育研修プログラムについて慎重に検討する必要がある。

A 研究目的

今日、わが国の精神保健福祉医療分野では、心理職のニーズと期待が急速に高まっている。そのニーズに的確に応えるためには、心理職の実態と役割を明確にし、その養成のための体制整備が緊急の課題である。本研究では、英国、カナダ、米国の医療分野の心理職の養成カリキュラムや研修制度について情報を収集し、レビューし、わが国の心理職に相応しい教育研修システムを提言することを目的とする。

B 方法

1) 英国、カナダ、米国の医療分野におけるサイコロジストの概要および活動状況

英国、カナダ、米国の3か国に関して、医療分野のサイコロジストの概要および活動状況について情報を収集し、レビューを行った。

2) 英国、カナダ、米国の臨床サイコロジストとカウンセラーの比較

医療分野の心理職には、大きく分けると臨床サイコロジストとカウンセラーがある。カウンセラーの概要および活動状況について情報を収集し、レビューを行い、臨床サイコロジストとの違いについて考察する。

3) 英国、カナダ、米国の臨床サイコロジストになるための要件

医療分野における心理職、臨床サイコロジストになるための要件について、学部教育、大学院プログラムと最終学位、授業時間数、実習/インターンシップ経験、スーパーヴァイズ経験、試験の有無、資格更新、海外で教育を受けた場合の措置という観点で、英国、カナダ、米国の状況を比較した。その上で、日本の医療分野における心理職のサービスの質を高めるための教育研修システムについて考察した。

C 結果

1) 英国、カナダ、米国のサイコロジストの概要および活動状況

英国、カナダ、米国の医療分野の心理職には、主に臨床サイコロジストとカウンセラーがある。ここでは、臨床サイコロジストについて取り上げ、英国、カナダ、米国における制度の概要と活動状況について情報収集し、レビューを行った。以下に、その要約を述べる。

1-1) 英国

英国の臨床サイコロジストは、3年間の専門職大学院を修了した者である。専門職大学院は、修士課程や専門職大学院以外での博士課程とは異なる。つまり、臨床サイコロジストになるためには、D. Clin. Psych.あるいは、Clin.Psy.D.か類似のタイトルが示されている教育プログラムのみが適応される。Psy.D や Ph.D のプログラムではなれない。

英国の場合、臨床サイコロジ、つまり臨床心理学は、The British Psychological Society(BPS)によって認められている応用心理学における7分野の一つである。7分野には、臨床心理学(臨床サイコロジ)、カウンセリング心理学、教育心理学(スコットランドは別にある)、法心理学、健康心理学、職業心理学、スポーツ心理学が含まれる。これら7分野は、2009年7月1日よりThe Health and Care Professions Council(HCPC)によって認められ、法的に規制された。HCPCは、16分野(現時点では)における健康に関する専門家(例えば、社会福祉士、言語療法士、芸術療法士、X線技士など)のための政府監視機関である。また、教育訓練プログラムの基準と専門家としてのスキルや行動に法的な基準を設けていて、全ての専門家や教育プログラムを提供する者は順守しなければならない。従って、HCPCとBPSが認める専門職大学院を修了した後、HCPCに登録し、'practitioner psychologist'あるいは、'registered psychologist'専門は、'clinical psychologist'というタイトルになる。臨床サイコロジストは、法律で守られている。従って、国家資格のため

の試験があり、合格した者に「資格」を発行するという考え方ではない。HCPC の最新の登録者数は、11,198 人（イングランドのみ。スコットランド、ウェールズ、アイルランドを含めると 20,8591 人。2015 年 1 月時点）である。

英国の場合、専門職大学院を修了した臨床心理サイコロジストは、多様な精神疾患（不安障害、外傷後ストレス障害、うつ病、双極性障害、統合失調症、身体表現性障害、摂食障害、依存症、人格障害、発達障害など）身体疾患（急性・慢性、糖尿病、神経心理学的検査とリハビリテーション）知的機能（軽度～重度の認知障害）多様な心理検査（インタビュー、観察、尺度、発達検査など）様々な年代（乳幼児／就学前、子ども、思春期、成人、高齢者）心理療法の形態（個人、家族、カップル、グループ、組織、ケアする人）サービスの提供形態（入院、施設、一次・二次・三次医療*など）や直接的・間接的（スタッフやケアをする人、学校などを通して）に対応する。心理療法に関しては、認知行動療法は必須であり、そのほか精神力動学的精神療法、システム・家族心理学、人間性心理学など最低、2 つ以上のアプローチを実践できる。

アセスメントをし、フォミュレーションを作成し（臨床的理解を図式化したもの）、心理療法をするのみならず、研究者であり、多職種協働を実現する組織内のコンサルタントであり、訓練や教育者、臨床リーダー、イノベーター、マネージャーでもある。

特筆すべきは、多く（2013 年 9 月の時点では、イングランドにおいて 8,576 人）が、英国の国民保健サービスである National Health Service (NHS) に常勤や非常勤の形態で勤務している。これは、教育プログラムの中で NHS での有給での実習経験が大きな柱であるためと関連する。なおかつ、専門職大学院を受験する条件として、NHS での就労が前提であり、英国で就労できる必要がある。

準サイコロジストに値するのは、

「Psychological Wellbeing Practitioner (PWP)」がある。これは、2008 年メンタルヘルスの問題を抱える人々の医療費削減や社会的損失削減の動き、社会からの要請によって始まった Improving Access to Psychological Therapies (IAPT) によってできた役割である。特に軽度～中程度の不安障害とうつ病の認知行動療法を行う人たちである。最近では、さらに幅が広がり、あらたに子どもや若者の認知行動療法を行う PWP の役割もできた。PWP は、BPS が認定している修士課程を終えた者がなれる。

注 1) 一次・二次・三次医療

住民は登録し、総合診療医・かかりつけ医 general practitioner (GP) がいる。GP はゲートキーパー役も担っており、救急などの場合を除いて担当 GP の許可なく上位医療を受診することはできない。二次医療は病院が担い、専門的医療・精神疾患ケア・救急救命などを提供する。三次医療は大学病院等が担っている。

1-2) カナダ・米国

カナダ、米国は、各州が一つの国のような機能を持っているため、臨床心理サイコロジストの認定は基本的に州毎に行われている。カナダでは、登録サイコロジスト（Registered Psychologist）、米国では、Certified Psychologist（公認サイコロジスト）と呼ばれる。資格内容は、いずれも American Psychological Association に準じている。また、カナダでは、Canadian Psychological Association、および Canada Health Act 等に遵守している。カナダ、米国ともに、各州で記載の仕方に差はあるが、要件に大きな差はない。本稿では、カナダではオンタリオ州、米国ではアリゾナ州の情報を扱った。

カナダの登録サイコロジスト、米国の認定サイコロジストは、臨床心理学の Psy. D や Ph.D のための博士課程プログラム（修士課程含めて最短で 4 年）を修了し、決められた時間数の実習・インターンシップ経験を積み、筆記試験（国の試験は必須、州の試験は州によって要否が分か

れる) 口述試験に合格した者である。カナダ、米国では、国の試験として、いずれも The Examination for Professional Practice in Psychology (EPPP) という資格試験が利用されている。また、準登録サイコロジストの資格もあり、カナダ(オンタリオ州)における要件は、要修士号、実習時間最低 400 時間、修士課程修了後に 1 年間(1500 時間)のインターンシップ経験、EPPP および口述試験に合格すること、である。米国には、準サイコロジストの資格を認定している州とそうでない州があり、アリゾナ州では資格認定していない。

オンタリオ州(人口約 1360 万人:2014 年 1 月 1 日時点)には、現在、3800 人を超える登録サイコロジスト、準登録サイコロジストがおり、公的な認定機関は、The College of Psychologist of Ontario(CPO)である。アリゾナ州(人口約 673 万人:2014 年 7 月 1 日時点)の公的な認定機関は、Arizona Board of Psychologist Examiners である。

臨床心理サイコロジストは、特に精神疾患や気分障害、発達障害、問題行動に関するアセスメント、診断、治療に精通している。臨床心理サイコロジストは、精神障害を治療するために、薬物の使い方は習うが、薬物の処方はない。臨床心理サイコロジストは、クライアントが抱えている問題に対する理解を支援し、洞察を促し、問題の影響を最小限にコントロールするスキルを発展させること、またその際に多職種による連携をコーディネートすることが役割である。また、人間の発達を理解し、研究の視点を持ち、知能や達成度、人格、気分障害、脳機能への影響をアセスメントするために心理テストを実施することが役割となる。臨床心理サイコロジストによるサービスへの支払いは、自由診療、拡張型医療保険、雇用促進プログラム、または行政やその他の特別なプログラムによってまかなわれる。

2) 英国、カナダ、米国の臨床心理サイコロ

ジストとカウンセラーの比較

医療分野の心理職には、大きく分けると臨床心理サイコロジストとカウンセラーがある。カウンセラーの概要および活動状況について情報を収集し、レビューを行い、臨床心理サイコロジストと比較した。

2-1) 英国

英国では、セラピストやカウンセラー(言葉の上での区別はほぼない)は、通常、British Association for Counselling and Psychotherapy (BACP)が認定している修士課程で提供している教育プログラムを受け、スーパーヴァイズや実践経験を経て、BACP が認定する資格を有する人たちである。セラピストやカウンセラーは認知行動療法など訓練プログラムが提供するアプローチを身に付けてはいるが、基本的には傾聴に努め、クライアントの混乱を軽減し、困難に対処したり、必要なら変化できるように援助したりする。カウンセラーとしての仕事は非常勤が多く、私設相談室を開設しているカウンセラーもいるが、多くは教員、看護師、コンサルタントなどの資格と併用して持っている。

従って、英国では、臨床心理サイコロジストとカウンセラーは、区別がはっきりしている。臨床心理サイコロジストは、心理療法を実践するだけではなく、科学的根拠に基づいた(エビデンスベースト)理論をメンタルヘルス活動に適用し、評価と研究を継続する科学者 実践者である。つまり、実証性と専門性を重視する。一方、カウンセラーは、トレーニングにおいても臨床においても、研究よりも実践を重視し、実践では主に傾聴をする。また、教育プログラムと立場が法的に守られているかいないかの違いもある。

2-2) カナダ・米国

カナダ・米国では、カウンセラーになるためには、指定校によるメンタルヘルスに関係する修士以上の学位を取得し、200 時間以上の実習

(オンタリオ州は 200 時間、アリゾナ州はプレ実習 100 時間 + 実習 600 時間など、州によって幅がある) 修士修了の 2 年間のインターンシップ経験を経て、筆記試験および口述試験に合格する必要がある。カウンセラーは、かなり広汎なバックグラウンドを持ち、カウンセリングの修士号(博士号を持っている者もいるが必須ではない)。個人によって“セラピスト(心理療法士)”、“カウンセラー”など呼び方は異なる場合があるが、メンタルヘルスに関わるアセスメントや治療については訓練を受けている者と受けていない者がいる。

米国では、臨床心理士とカウンセラーは、いずれもメンタルヘルスの専門家とされる。それぞれ国家資格であり、サービスにかかる費用は保険でカバーされる。臨床心理士になるための学位には博士号が求められ、カウンセラーには修士号が必要である。教育カリキュラムが異なり、臨床心理士は APA のカリキュラムに依拠するが、カウンセラーは CACREP (Council for Accreditation of Counseling and Related Educational Programs) のカリキュラムに依拠する。臨床心理士は研究実施や統計解析に関する知識、経験を有し、カウンセラーは研究よりもむしろ実践の方が優先される。臨床心理士、カウンセラーいずれも心理療法を行うが、臨床心理士の方がより重篤な精神疾患(双極性障害、統合失調症など)の治療に当たることが多く、また心理検査のトレーニングを受けている。

以上を総合すると、臨床心理士は、学部から一貫して心理学を学び、博士号および国家資格制度を持ち、精神疾患のアセスメント(神経心理学的検査を含む)診断に関する訓練を受けている。多職種との連携をコーディネートする役割を担い、双極性障害や統合失調症などより重篤な疾患の治療を行い、また研究に関する知識、経験も有しているが、カウンセラーは、通常、研究よりも実践を重視したト

レーニングを受けている。

3) 英国、カナダ、米国の臨床心理士になるための要件

英国、カナダ、米国の臨床心理士になるための要件について、表 1 にまとめた。また、学部教育と大学院受験、大学院プログラムと最終学位、実習/インターンシップ経験、スーパーヴァイズ経験、試験の有無、資格更新、海外で教育を受けた場合の措置という観点で、英国、カナダ、米国の状況を比較した。

3-1) 学部教育と大学院受験

英国、カナダ、米国で臨床心理士になるためには、学部から一貫して心理学に関する教育を受けていることが求められる。

英国の場合、臨床心理士の専門職大学院を受験する際の条件として、BPS が認定している 458 コースの心理学部の学士を取得している必要がある。しかも、卒業時の成績が、2.1 以上^{注1)}でなくてはならない。さらには、高校生レベルで理科の A レベル^{注2)}に合格していなければいけない。臨床心理士になるための専門職大学院は 36 しかない。従って、非常に競争率が高い(参考: オックスフォード大学で約 200 名受験するが合格者は 17 名)。また、受験条件が厳しく、一次の書類選考に受かって最終選考の面接まで到達できるまで厳しい審査がある。一次審査の書類選考は英語力、学部の優秀な成績、英国で就労可能かなどが審査される。二次審査は、筆記試験、三次審査は 2 人以上の審査者が 推薦状、 経験 (assistant psychologist か research assistant の経験。臨床心理士のもと NHS で経験を積んでいる)、 研究、 書籍や論文、 追加のスキル、 文章の表現力、 受験者の強みなどを評価し選定する。最終のインタビュー審査では、各大学院によって違いはあるが、概ね、架空の事例にどう対応するかを口頭で答えことに加えて、一般的な臨床心理学に関する質問、

研究に関する質問などがされる。インタビュー時間は1時間半などの時間が確保されている。上記からわかるように、クリニカルサイコロジストを目指す時点で、すでに研究や臨床実践をしている必要がある。

カナダ、米国においても、学部時代の成績、臨床・研究の経験は同様に重視される。そのため、大学院の受験を目指す学生は、学部時代から、心理学プログラムに関する様々な経験を積むことが推奨されている。例えば、まず臨床経験、特別なプログラムを受ける、他の領域(例：神経科学)との連携ができるかどうかを考え、できる限りそれらの経験を積むようにする。また、成績(Graduate Point Average : GPA)を上げるように努力する。大学院の受験では、GPAと学部時代の活動内容の両方が重視される。学部生のためのAPAリソースを確認するとよい。

(<http://apa.org/about/students.aspx>)

さらに、学部生のための研究の機会(例：研究補助)を探す。APAには、学部生向けの研究インターンシッププログラムを行っている機関のリストがある。

(<http://www.apa.org/education/undergrad/research-oppo.aspx>)

一部の選抜された学生は、サマーフェローシップを受けることができる。心理学関連領域での研究を行う選抜プログラムである。これらの機会を得ることは、大学院プログラムの受験を有利にする。最後に、Graduate Record Examinations (GRE)の準備をする。

カナダ、米国の大学院プログラムへの一般的な入学要件は以下のとおりである：心理学領域で学士号を有していること、最低限の累積GPA (grade point average)、GRE (Graduate Record Exam) をパスしていること(語彙、論理的思考、分析的な表現力などを問う)、特定の心理学領域の入学試験に合格していること(特定の心理学領域の知識を問う)、申請するプログラムに特定の科目を履修していること、公的申請書、申請料、成績証明書、推薦状

(複数) 申請を後押しするその他の書類。

このように、欧米では、大学院プログラムへの入学を目指して、学部時代から、成績はもちろんのこと、目的的に臨床・研究両面の経験を積むことが求められている。

現在、日本には、医療領域における心理職として、例えば臨床心理士や臨床発達心理士があるが、いずれの資格も学部で心理学を学んでいる必要はない。指定大学院での教育カリキュラム(実習経験含む)を修了し、修士号を取得した後、臨床心理士あるいは臨床発達心理士の資格試験を受けることができる。今後、医療領域における心理職のサービスの質をさらに高めるためには、欧米の制度に倣い、学部から修士までの一貫した心理学部での教育は必須と考えられる。さらに、大学院を目指す学生に対して、授業内容以外にどのような経験を求めるかについても丁寧に検討する必要がある。

注1) 2.1以上

英国は、学期ごとの成績が出るのではなくて、卒業時に一回しか成績が出ない。1(ファースト)が最も優秀で学部で数名しか取れない。次に2.1(アッパーセカンド)で、上位1割ほど。平均が2.2(ローワーセカンド)で、3(サード)、fail(フェイル)と続く。

注2) Aレベル

General Certificate of Education, Advanced Levelの略。英国の学部には一般教養がないため、英国の大学入試として認められる統一試験。大学進学を希望する高校生は、2年間3~5教科のAレベルの専門科目を集中的に勉強する。

3-2) 教育歴と大学院プログラム

英国、カナダ、米国では、クリニカルサイコロジストになるためには、いずれも臨床心理学の大学院プログラムを修了し、博士号の取得が求められる。しかしながら、大学院の教育年数は国によって異なり、英国では、有給の臨床実践経験を含めた3年間の専門職大学院のプログラムを修了する必要がある。カナダ、米国では、修士課程および博士課程のプログラムを修了す

る必要があり、その後約 1 年間の有給の臨床実践経験を含め、最短でも計 5 年間に要する。英国では、大学院の教育年数は相対的に短い、大学院に入学した段階で、すでに有給で臨床実践を実施できる知識、経験、技量を備えている。したがって、大学院での教育年数を検討する際には、大学院と学部における教育カリキュラム内容のバランスを考慮する必要がある。

英国において、専門職大学院の教育カリキュラムは、授業、実習、研究の三本柱である。中でも実習は、週 3 日ほど占める。大学院課程を終えた際に身につける 9 つの能力が規定されている。それは、多様な障害に対応する能力を身に付けておく、心理検査、ケース・フォーミュレーション、心理的介入、評価、研究、個人、専門家としてのスキルと価値観、

コミュニケーションと教えること、組織やシステムへの影響とリーダーシップ、である。授業は、週 1~2 日程度で、内容は上記の 9 つの能力に沿って、実習先で出会う多様な精神障害や年代とその治療に関する理論、心理検査、研究法、倫理、多職種協働、スーパーヴァイズの仕方、文化や性別差、法律、マネジメントなど多岐にわたる。研究論文は、将来的に書籍となるような高度な内容が期待される。

カナダ（オンタリオ州）では、大学院では、下記の指定授業（1 セメスター 13 回授業）の中から 3 つ以上を修了させること、および、下記の指定授業の中から少なくとも 4 つの授業において、6 単位以上得ることが求められる： 行動に関する生理学的知識（生理心理学、比較心理学、神経心理学、感覚や知覚論、精神薬理学など）、行動に関する認知/心理学的知識（学習、認知、動機付け、感情）、行動に関する社会学知識（社会心理学、心理学、集団形成、コミュニティ心理学、環境心理学、組織論）、個々人の差異に関する知識（パーソナリティ理論、発達心理学、異常心理学）、心理学の専門職としての倫理と基準、研究デザインと方法論（研究デザイン、実験手続、実験室手法）、統計

手法（統計、多変量解析）、心理アセスメント（評価、テスト構築、妥当性の知識）、専門的な実習：アセスメント（アセスメント技法の実習）

専門的な実習：介入技法（心理療法、カウンセリング、行動変容理論の実践）。特に近年カウンセリング心理学でも、Basic Interview Skill のコースは、共感的な傾聴の仕方だけでなく、基本的に認知行動療法の聞き方（例：ソクラテス式、下向き矢印法など）、そして Basic Assessment Skill のコースでもケース・フォーミュレーションの組み方がベースとなってきた。修士課程で認知行動療法の視点を身につけた上で、+ として博士課程でより専門的な技法（弁証法的行動療法、動機付け面接、子どもに対する治療技法など）を習得することがカリキュラムに組み込まれている。

米国（アリゾナ州）では、アリゾナ州資格認定協会が認めた臨床心理学の分野で博士号を取得しなければならない。APA が指定した博士課程のプログラムは、要件を満たすと考えられる。資格認定協会が発行した基準を満たせば、他のプログラムも認められる。大学院のプログラムに含まれる内容は以下のとおりである： プロフェッショナルと科学の基準および倫理、研究方法と統計、行動の生物学的バイアス、行動の社会的バイアス、行動の認知情動的バイアス、個人差、介入技法、倫理。介入技法に関しては、認知行動療法と精神力動的な精神療法の 2 つのアプローチについて、必須で習得することが求められる。

3-3) 実習/インターンシップ経験

臨床実践経験を確保するためのシステムに関しては、英国とカナダ・米国では大きく異なる。

英国の場合、3 年間の博士課程の中で、有給で NHS の臨床機関（地域のセンターや病院等）において実習する。3 年間で 300 日以上という規定があり（BPS が規定している）、多くのプログラムでは、週 3 日ほど実習に費やされる。1 回の実習期間は 5 ヶ月で 3 年間の間で 6 回行

う。実習先は、NHS 内、あるいは関連施設で行い、詳細なポートフォリオを作成する。ポートフォリオは 4 種類作る。一つは、臨床経験に関するものである。これは、全てのケースを記録する。内容は、日にち、性別、年齢、簡潔に見立て、検査に関する要約、介入に関する要約、回数と時間、コンサルテーションの時間数などである。二つ目は、心理療法の能力に関するものである。認知行動療法は必須であるが、その他のアプローチも実践し記録する。例えば、認知行動療法の場合は、認知行動療法の説明、認知の偏り、協働作業によって導き出された仮説、治療計画など認知行動療法の必須の要素がチェックポイントとして含まれている。三つ目が、心理検査の能力に関する記録である。これも全てのケースにおいて要約し、記録する。4 つ目が実習の累積記録である。クライアントの特徴、実習場所、アプローチの種類、心理検査に関することなど経験を重ねるごとに該当する項目を塗りつぶし、一目瞭然で何を経験したか分かるようになっている。

カナダ（オンタリオ州）および米国（アリゾナ州）では、臨床実践経験は計 3000 時間が必要とされ、そのうち 1500 時間以上は、博士課程プログラム終了後に有給の臨床実践（インターンシップ）を行う必要がある。なお、臨床実践経験に関する規定は、州によって異なり、カナダのブリティッシュコロンビア州では、計 2000 時間（有給のインターンシップ 1500 時間以上）、米国ニューヨーク州では計 3500 時間（有給のインターンシップ 1750 時間以上）などと幅があるが、3000 時間が一般的である。また、有給のインターンシップ時間の内訳も細かく規定されている。例えば、実際の心理サービスに従事する時間は、カナダ（オンタリオ州）では全体の 30% 以上、米国（アリゾナ州）では、インターンシップ 1500 時間のうち、少なくとも 600 時間と規定されている。インターンシップ時間数に関しては、記録の提出が求められ、厳密に管理される。記録には、介入経験、心理学的アセスメント経験、

スーパービジョンを受けること、補足的な活動、実習/インターンシップ経験に関する付加的な情報を記入する。インターンシッププログラムは、APA 公認、あるいは心理学協会やポストクインターンシップセンターのメンバーとなっている施設で行われることが推奨され、少なくとも 2 人のサイコロジストがいる施設でトレーニングを受ける必要がある。トレーニングは、十分に深く広く学ぶことができるやり方で計画される。

3-4) スーパーヴァイザー経験

英国の場合、実習先と大学内と最低一人ずつのスーパーヴァイザーがいる。実習先のスーパーヴァイザーはクリニカルサイコロジストではない BPS が定める他の 6 分野の専門家の可能性や、心理学ではない専門家である可能性もある。また、スーパーヴァイズの形態は、1 対 1、1 対 2、グループなどがあるが、十分な 1 対 1 の SV が行われる。予定されている公式な SV は、必ず週に 1 回 1 時間以上行われ、週に合計 3 時間以上はスーパーヴァイザーと話をする時間をとる。SV は、口頭のみならず、実習に関してはスーパーヴァイザーが記述して渡し、実習生はそれにコメントを書く。実習生は、スーパーヴァイザーの実践を観察する機会もある。

カナダ・米国では、少なくとも 2 名のサイコロジストが在籍し、インターンシッププログラムの認定を受けている施設において、定期的にスーパーヴァイズを受ける。カナダ（オンタリオ州）では、毎週 2 時間、全体で 300 時間と規定されている。米国（アリゾナ州）では、20 時間につき 1 時間の個別スーパーヴァイズに加え、毎週 2 時間の研修時間を確保すること（集団でもよい）と、細かく規定されており、インターンシップ期間の 1 年間だけではなく、2 年間受ける必要がある。スーパーヴァイズを受けた時間数は記録される。

米国では、スーパーヴァイザーになるためには、博士号を有しており、サイコロジストの資

格を取得してから3年経過していることが求められる。大学院プログラムで授業を取り、理論を学ぶことができるが、必修科目ではない。インターンシップ期間中には、基本的に必ずスーパーヴァイズするという経験も積む。

3-5) 資格試験

英国は、指定大学院のプログラムを修了した時点で専門職サイコロジスト (practitioner psychologist) としての資格を得られるとの考え方なので、資格取得のための試験はない。

一方、カナダおよび米国には試験制度がある。カナダ、米国いずれも、試験には、筆記試験と口述試験がある。筆記試験は、国の試験 (EPPP) とメンタルヘルスの専門職の倫理と法律に関する問題 (Written Jurisprudence Examination) を扱う州の試験の2種類があり、前者はいずれの州でも必須であるが、後者は州によって必要な場合と不必要な場合がある。合格基準もまた、州によって異なる。カナダ (オンタリオ州) では、両方の試験に合格する必要があるが、EPPP が 500/800 点以上 (粗点で 140/200 点以上)、メンタルヘルスの専門職の倫理と法律に関する問題 (Written Jurisprudence Examination) 40/50 点以上が必要である。一方、米国 (アリゾナ州) では、州の試験はなく、EPPP が 500/800 点以上が求められる。

3-6) 資格更新

英国は、専門職大学院を修了したのちに HCPC に登録し、2年ごとに再登録をする。その際、提出資料には、クリニカルサイコロジストとしての能力の維持に関することと、健康に関する確認がある。一方、カナダおよび米国には資格更新制度があり、カナダ (オンタリオ州) では毎年、米国 (アリゾナ州) では2年毎の更新が求められる。

カナダでは、資格更新のためには、A-D までの4つの全領域 (計最低 40 時間) について収める必要がある。

A: 公式研修プログラムへの参加 (最低 12 時間) 目的: 新たな技法の習得、例: 学会参加、トレーニング機関による学会会議、コース、ワークショップなど、提出書類: 参加証など。

B: 自己学習 (最低 11 時間) 目的: 専門職としての規則、専門的な理論を維持する。例: 倫理規定、メンタルヘルスに関する法律、学会誌や専門書を通読し、技術研鑽を積む。提出書類: 読んだ雑誌や書物の要約。

C: 構造的な相互学習 (最低 12 時間) 目的: 指定校でまとめられた学習会やピアレビューなどで、フィードバックを活用し、新しい知見を獲得し、実践に活かす。例: 定期的なピアレビュー、ピアコンサルテーション、事例検討会 (スタッフミーティングは含めない)。提出書類: 開催した内容、参加者名、学んだ内容などの記載。

D: 倫理 (最低 5 時間) 目的: 領域 A-C の中から、専門職として倫理規定を遵守するために学んだ事を明確にする。例: The code of Conduct や倫理的な問題解決の振り返り。提出書類: 領域 D 倫理に関係する内容に関して学んだ内容を、トピック、参加者名などを記載。

米国 (アリゾナ州) では、カテゴリー I (後述) から 40 時間、カテゴリー II (後述) から 20 時間、計 60 時間の研修が求められる。そのうち、カテゴリー I では、倫理に関して 4 時間、児童虐待および家庭内暴力に関して 4 時間の研修を受ける必要がある。カテゴリー I には 大学が認定するコース、セミナー、ワークショップ、修了証明書を伴う家庭学習、認定協会主催の研修会への参加。更新のために認められる参加合計時間は 10 時間まで。コンプライアントコンサルタントを務めること。認定協会のコンプライアントをレビューし、報告書を書くと、所要時間に応じて研修時間に換算される。最大 20 時間まで。カテゴリー II: サイコロジスト、専門家として研鑽を積むための自己学習あるいはグループ学習、出版物 (心理学関係の書籍、ピアレビュージャーナルなど)、州、国、海外の心理学関係の学会や集会への参加、ケースカンファレ

ンスへの出席、サイコロジスト、専門家として研鑽を積むために研修会、ワークショップ等への参加。上記の研修を証明するために、参加証明書、参加証、公的印刷物、自己学習については課題、日時、所要時間等の記録等の提出が求められる。

このように、サイコロジストの資格取得後も実践の質を高めるため、引き続き研修、研鑽が求められている。カナダ、米国で更新に必要とされる継続研修には、公式の研修プログラムへの参加、自己学習、相互学習、倫理についての研修などが含まれ、共通している。

3-7) 海外の大学院で教育を受けた場合の措置

英国では、クリニカルサイコロジストの専門職大学院のカリキュラムの中で有給の実習があり、英国に住民権があることが大学院受験のための条件となるため、外国人を受け入れていない。

カナダでは、カナダまたは米国以外で教育を受けた場合は、州が求める要件を満たしているかどうか証明する必要がある。その際に、出身大学からの直接の修了証及び成績証明書等の英語版（あるいは公的な翻訳家による英語版）を提出し、Comparative Education Service (CES) または World Education Services (WES) の第三者機関による大学間評定を受ける。その結果を基に審査基準が個別に審査される。

米国（アリゾナ州）では、外国で教育を受けた場合は、クリニカルサイコロジストとして公認されるためには、以下の要件を満たす必要がある：教育プログラムの内容の詳細を示す追加書類を提出する必要がある。資格認定協会に博士課程修了証明書の原本を見せ、またコピーも提出する。成績証明書も提出する。資格認定協会に、博士論文が“心理学”のものであることを証明する必要があり、資格認定協会はその博士論文を直接見せるよう求める場合もある。すべての書類は英語に翻訳される必要がある。

D. 考察

本稿では、英国、カナダ、米国の医療分野における心理職の教育研修システムを概観した。これらを比較しながら、日本の医療分野における心理職のサービスの質を高めるための教育研修システムについて考察する。

まず、英国では、クリニカルサイコロジストを養成するための専門職大学院が設置されている。専門職大学院は、分野別（臨床、カウンセリング、教育、法、健康、職業、スポーツ）に7つのプログラムが用意され、クリニカルサイコロジストを目指す場合は、臨床心理学（クリニカルサイコロジー）のプログラムを専攻する必要がある。つまり、大学院入学時点ですでに専門分野に分かれることになる。そのため、大学院のプログラムだけで完結しており、それを修了することにより、クリニカルサイコロジストとして認定される。一方、カナダ、米国では専門職大学院ではないため、大学院を修了しただけではクリニカルサイコロジストと名乗ることはできない。その後、臨床心理学分野におけるインターンシップを規定時間修了し、資格試験に合格して初めてクリニカルサイコロジストとしての免許を取得する。このように、英国のように大学院の入学時点で厳しい選抜試験をするか、カナダ、米国のように大学院修了後に資格試験を実施するか、国によってシステムは異なるが、学部から一貫して心理学を学ぶこと、博士号を取得する必要があること、スーパーヴァイズ下の濃密な臨床実践経験を積む必要があることは共通している。

これらクリニカルサイコロジストが、カウンセラーと異なる点は、受ける教育のバックグラウンドや求められる教育歴であり、また業務内容では、クリニカルサイコロジストは診断アセスメントが実施でき、認知行動療法をはじめとして、多様なアプローチ方法に精通している点である。また、カウンセラーが研究よりも実践が重視されている一方、クリニカルサイコロジストは、研究と実践を行う両方の能力が求めら

れる。このことは、臨床心理学における実践性と科学性の統合に関して米国心理学会（APA）では、1949年に臨床心理学の大学院教育プログラムのモデルとして科学者 - 実践者モデル（scientist-practitioner model）を採用することを宣言していることから明らかである。

欧米のクリニカルサイコロジストの科学者 - 実践者モデルおよび教育研修システムを参考に、日本における医療分野における心理職の教育研修システムについて考察する。英国、カナダ、米国では、教育歴に関しては、学部から大学院まで一貫して心理学を修めていることに加え、博士号の取得が必須である。日本の臨床心理士を例にあげると、その教育歴は、指定校において修士課程のプログラムを修了し、修士号を取得していることが求められるが、学部は心理学および関連分野を修めている必要はない。つまり、修士課程のみで基本的な研究および実践力を培う必要があるが、わずか2年間という短い期間では、いずれも欧米のレベルには遠く及ばないことは明白である。したがって、学部から一貫して心理学を学ぶような教育プログラムが強く求められる。また、欧米では、スーパーヴァイズ下での濃密な臨床実践経験を積むこともサイコロジストの質の向上に資していると考えられる。さらに驚くべきことに、欧米では認知行動療法をはじめとして、複数の心理療法を使いこなすことが求められる。これにより、特定の心理療法に偏重することなく、クライアントの状態に即したアプローチ方法を選択できることにつながっていると考えられる。日本の医療領域における心理職のサービスの質を向上させるためには、この臨床実践経験は特に重要な教育研修プログラムの1つとなり、理想的には複数の心理療法を使いこなせるようになることが望ましい。一方で、日本では心理職がフルタイムで勤務する施設数が少ないという現状を鑑み、クリニカルサイコロジストと目指す者の臨床実践経験の必要時間数（あるいは年数）、その施設認定（およびその要件）等をどう計画し

ていくのか、慎重な検討が必要である。また、これまで以上にスーパーヴァイズを受ける機会を十分に確保するのが重要となってくるであろう。欧米では、大学院プログラムの中でスーパーヴァイザーとなる授業を履修したり、臨床実践経験中にスーパーヴァイズを行うための研修を受けたりする。このように、スーパーヴァイザーとなる現職者であるクリニカルサイコロジストの教育研修、および、認定制度についても丁寧に検討していく必要がある。

クリニカルサイコロジストとして認定された後は、継続的な研修が求められる。欧米では、資格更新が毎年あるいは隔年で行われ、更新のための条件も細かく設定されている。アセスメントや介入技法について学びを深めることは当然であるが、特筆すべきは、倫理規定を遵守するための研修を義務付けている点であろう。例えば、日本の臨床心理士のように5年毎の更新では、その間の研鑽が不十分と判断せざるを得ないだろう。

欧米の臨床心理学や臨床心理士は安定した地位を確立しているが、これまで述べてきたように、その背景には、綿密で高度な教育プログラムおよび継続研修があり、日本のそれとは比べるべくもない。日本の臨床心理士の英名はCertified Clinical Psychologistであるにも関わらず、欧米のような科学者 - 実践者としてのクリニカルサイコロジストになりえているだろうか。日本の医療分野における心理職のサービスの質を高めるためには、学部や大学院の教育研修プログラムを見直し、充実させるだけでは不十分と言えよう。クリニカルサイコロジストを目指す者が質の高い臨床実践経験を積むためのプログラム内容を再検討する必要があり、それを提供するだけの現職者のスキルアップが求められる。現職者は、現在の臨床実践の有効性に関するエビデンスを不断に検証し、スーパーヴァイズを適切かつ的確に行うためのトレーニングを積む必要がある。つまり、心理職を目指す者だけでなく、現職者においてもドラスティック

な意識の転換およびレベルアップが迫られている。その第一歩は、本稿で述べてきたような欧米のクリニカルサイコロジストの教育研修システムを知ることにより、自身の研修歴と日々の臨床実践の質を問い直すことであろう。

E . 健康危険情報 なし

F . 研究発表 なし

G . 知的財産権の出願・登録状況

- 1 . 特許取得 なし
- 2 . 実用新案登録 なし
- 3 . その他 なし

H . 主な参考文献

英国の教育研修システム : The British Psychology Society : Careers-Education-Training (<http://www.bps.org.uk/careers-education-training/careers-education-and-training>) (最終更新日 : 2015年3月31日)

カナダ (オンタリオ州) の教育研修システム : Registration Guidelines : Psychologist supervised practice Requirement and Registration Process Retrieved (<http://www.cpo.on.ca/WorkArea/DownloadAsset.aspx?id=286>) (最終更新日 : 2015年3月31日)

米国 (アリゾナ州) の教育研修システム : Psychologist License Requirements in Arizona (<http://www.psychologist-license.com/states/arizona-psychologist-license.html#prefilter>) (最終更新日 : 2015年3月31日)

表1 英国、カナダ、米国の心理職になるための要件

内容		要件		
		イギリス	カナダ（オンタリオ州）	米国（アリゾナ州）
サイコロジスト	学位	博士号 D Clin Psy	博士号 Ph.D., Psy.D.	博士号 Ph.D., Psy.D.
	授業時間数	専門職大学院 3年相当（週 1~2 日）	大学院 3年相当	大学院 3年相当
	実習時間	300 日以上	1500 時間	1500 時間
	インターンシップ時間数		約 1 年間（1500 時間以上）	約 1 年間（1500 時間以上）
	スーパーヴァイズ時間数	週 1 時間以上（非公式週 3 時間以上）	最低 300 時間	2 年間（1 時間 / 20 時間毎）
	資格試験	無 ^{注)}	有（筆記 + 口述） EPPP500 / 800 点以上 メンタルヘルスに関する倫理と法律 40 / 50 点以上	有（筆記 + 口述） EPPP500 / 800 点以上
資格更新	有（2 年毎）	有（毎年）	有（2 年毎）	
準サイコロジスト	学位	修士号（ Psychological Wellbeing Practitioner ）	修士号	
	授業時間数	25 日 / 45 日間	2 年間相当	
	インターンシップ時間数	20 日 / 45 日間	約 1 年間（1500 時間）	米国では、準サイコロジストの制度の有無が州によって異なり、アリゾナ州は当該制度がない
	スーパーヴァイズ時間数	具体的な時間数はないが SV を受ける	最低 300 時間	
	資格試験		筆記 + 口述 EPPP500 / 800 点以上	
資格更新	有	有（毎年）		
カウンセラー	学位	修士号	修士号	修士号
	インターンシップ時間数	3 年以上の実践経験	2 年間	2 年間
	スーパーヴァイズ時間数	3~6 年間で 450 時間以上	不明	不明
	資格試験	無	無	有
	資格更新	無	有（詳細は不明）	有（4 年毎）

注) 英国では資格試験はないが、専門職大学院のプログラムへの入学試験（書類、筆記、口述）に条件がある。英国で働ける、英語力 IELTS7.0~8.0 以上、高校・心理学部での優秀な成績、推薦状、実習経験、研究、業績など

